

の県民への直接のメリットは自治医科大学所在の県には圧倒的なメリットがあるが、遠く離れた県にはほとんどメリットがないのも実状である。

E. 結論

へき地・離島医療における医療支援システムの構築に何が求められているのかを明らかにすることを目的に、地域特異性のある山形県の広域山間へき地、北海道の広域豪雪へき地、岡山県の山間・離島へき地を選んで、おのおの地域における通常医療と救急

医療を中心にその実態と問題点について調査し、今後のあり方について検討した。

へき地・離島医療支援に関しては、医師を中心とした医療従事者の確保（長期、短期、代診）、搬送手段を含めた救急医療体制の整備、研修を含めた医学教育に対する支援策が基本である。今後は、さらなる高齢化社会を考慮した通常の医療体制と救急医療体制を構築し整備していかなければならない。

最後に、現地調査にご協力いただきました関係者各位に深謝致します。

表1 川西町消防本部における救急搬送
(要請から収容までに40分以上を要した症例)

症例	年齢	性別	傷病名	要請医療機関名	収容医療機関名	距離(km)	時間(分)
1	56	男	右拇指切断	公立置賜総合病院	山形大学付属病院	48	61
2	50	女	脳炎	公立置賜総合病院	山形大学付属病院	47	68
3	22	男	病的酩酊	公立置賜総合病院	二本松会上山病院	41	61
4	89	男	肺結核疑い	公立置賜総合病院	国立療養所山県病院	58	77
5	84	女	結核疑い	公立置賜総合病院	国立療養所山県病院	57	71
6	67	女	急性大動脈解離	公立置賜総合病院	山形大学付属病院	48	64
7	48	男	解離性大動脈破裂	公立置賜総合病院	山形大学付属病院	46	70
8	53	男	熱傷Ⅲ度	公立置賜総合病院	山形大学付属病院	45	53
9	77	男	慢性呼吸不全,肺線維症	公立置賜総合病院	米沢市立病院	28	48
10	59	男	急性大動脈解離	公立置賜総合病院	山形大学付属病院	46	59
11	12	男	肺炎,呼吸不全	公立置賜総合病院	国立療養所米沢病院	26	67
12	0	男	急性心不全	公立置賜総合病院	山形大学付属病院	47	65
13	0	女	大血管転移症	公立置賜総合病院	山形大学付属病院	46	67
14	56	男	肺炎	公立置賜総合病院	山形大学付属病院	45	58
15	70	男	心筋梗塞,心不全	公立置賜総合病院	山形大学付属病院	46	57
16	73	男	肺結核	公立置賜総合病院	国立療養所山県病院	55	68
17	76	男	頸髄損傷,脳挫傷	公立置賜総合病院	至誠堂病院	53	63
18	47	男	脊髄小脳変形症	公立置賜総合病院	国立療養所米沢病院	33	49
19	77	男	大動脈解離	公立置賜総合病院	山形大学付属病院	45	68

平成13年度の川西町管内における転送・転院搬送例は37件で、うち19例(51.4%)は40分以上を要しており、すべて公立置賜総合病院からの要請であった。

		米沢市消防	西置賜行政 組合消防	南陽市消防	高島町消防	川西町消防	合計
置賜 地 区 内	米沢市立病院○	1,273	2	9	80	30	1,394
	(財)三友堂病院○	710	1	4	61	33	809
	(医)舟山病院○	377	0	1	16	1	395
	公立置賜総合病院○	23	1,338	1,117	104	595	3,177
	小国町立病院○	0	171	0	0	0	171
	白鷹町立病院○	0	253	1	0	0	254
	公立高島病院○	1	0	14	476	1	492
	国療米沢病院	22	0	0	0	2	24
	公立置賜長井病院	1	19	3	0	3	26
	公立置賜南陽病院	0	0	11	0	5	16
その他の病院	3	6	3	5	4	21	
診療所(医院)	20	0	1	2	1	24	
小計	2,430	1,790	1,164	744	675	6,803	
置賜 地 区 外	山医学部附属病院○	8	7	7	9	15	46
	山形県立中央病院○	12	5	3	1	2	23
	山形市立病院済生館○	0	1	0	1	0	2
	東北中央病院○	0	1	2	0	0	3
	山形済生病院○	6	4	0	3	0	13
	蔵王みゆき病院○	0	1	4	1	0	6
	篠田総合病院○	0	0	0	0	0	0
	至誠堂総合病院○	0	0	1	0	1	2
	小白川至誠堂病院○	0	1	0	0	0	1
	山形県立河北病院○	0	0	0	0	0	0
福島医大附属病院○	6	0	0	0	0	6	
国療山形病院	0	0	0	0	3	3	
二本松会上山病院	0	0	0	1	2	3	
その他の病院	3	0	0	0	0	3	
診療所(医院)	0	0	0	0	0	0	
福島県	0	0	0	0	0	0	
新潟県	0	1	0	0	0	1	
小計	35	21	17	16	23	112	
合計	2,465	1,811	1,181	760	698	6,915	

○は救急告示病院

表2 置賜地域における医療機関別、消防機関別救急搬送件数

	初期救急医療		第二次救急医療	第三次救急医療	
	(休日)	(夜間)	(休日及び夜間) (救急告示病院)		
米沢市	米沢市休日 急病診療所 (S60.4.1) (改築移転H6.4.1)	休日 歯科在宅 当番医制	病院群輪番制 (S62.4.1) 米沢市立病院 (財)三友堂病院 (医)舟山病院	県立救命救急センター	
南陽市 高島町 川西町	南陽東置賜 休日診療所 (S56.12.10)		かかりつけの医師 又は 病院の当直医師	公立置賜総合病院 公立高島病院 小国町立病院 白鷹町立病院	山大医学部附属病院
長井市 小国町 白鷹町 飯豊町	長井西置賜 休日診療所 (H3.10.27)				公立置賜総合病院 救命救急センター

表3 置賜二次医療圏における救急医療体制

平成10年

転院搬送 (鶴岡市立荘内病院→千葉県救命救急センター) 化学熱傷 1

平成11年

救急患者搬送 (酒田市飛鳥 悪天候で不搬送) 1/11 右下腿腓骨骨折 0
 転院搬送 (東北中央→北海道大医学部附属病院) 3/27 内臓疾患 1
 転院搬送 (県立日本海→山大医学部附属病院) 4/22 頸椎損傷 1
 転院搬送 (市立酒田病院→県立中央) 4/28 切迫早産 1
 (救急患者搬送 (酒田市飛鳥→市立酒田病院 12/2 ヘリダウンにより福島防災ヘリ 腸閉塞 1)

平成12年

・スノーボード負傷者搬送 (山形市蔵対-4) 1/16 腰部打撲 1
 ・スノーボード負傷者搬送 (山形市蔵対-4) 1/17 腰部骨折疑 1
 ・傷病者搬送 (飯豊町大日杉小屋) 2/12 一酸化中毒 3
 転院搬送 (北村山公立病院→東京HP (日本医科大附属病院)) 2/23 肺疾患 1
 救急患者搬送 (酒田市飛鳥→市立酒田病院) 3/11 1
 救急患者搬送 (酒田市飛鳥→市立酒田病院) 7/19 急性腸炎 1
 救急患者搬送 (酒田市飛鳥→市立酒田病院) 8/24 急性腸炎 1

平成13年

救急患者搬送 (酒田市飛鳥→市立酒田病院) 1/25 高血圧 1
 転院搬送 (公立置賜総合病院→杏林大学) 2/8 全身熱傷 1
 転院搬送 (県立日本海病院→県立中央病院) 5/10 切迫早産 1
 転院搬送 (公立置賜総合病院→県立中央病院) 6/4 全身熱傷 1
 救急患者搬送 (酒田市飛鳥→市立酒田病院) 9/14 右手骨折 1
 転院搬送 (白鷹町立病院→県立中央病院) 10/11 熱傷 1
 転院搬送 (県立日本海病院→県立中央病院) 10/24 超未熟児 1
 転院搬送 (山大附属病院→信州大附属病院) 11/1 生体肝移植 1
 (救急患者搬送 (酒田市飛鳥→県立日本海病院 12/3 ヘリダウンにより秋田防災ヘリ 肺炎 1)

平成14年 (8月末現在)

救急患者搬送 (酒田市飛鳥→市立酒田病院) 2/24 脳血管障害疑 1
 ・スノーボード負傷者搬送 (上市市蔵王) 3/5 外傷性くも膜下出血 1
 救急患者搬送 (酒田市飛鳥→市立酒田病院) 5/6 脳梗塞 1
 ・救急傷病者搬送 (小国町大石沢 死亡により不搬送) 6/30 CPA 0
 転院搬送 (山形市立病院済生館→さいたま市立病院) 7/8 脳髄膜炎 1
 転院搬送 (山大附属病院→東京HP (岡山大病院)) 7/14 心臓病 1
 救急患者搬送 (酒田市飛鳥→市立酒田病院) 7/27 頭部打撲 1
 転院搬送 (県立新庄病院→県立中央病院) 8/2 AMI 1

年	種別			合計	他県応援
	離島	急病	転院搬送		
10年	0 [0]	0 [0]	1 [1]	1 [1]	
11年	1 [0]	0 [0]	3 [3]	4 [3]	1 [1]
12年	3 [3]	3 [5]	1 [1]	7 [9]	
13年	2 [2]	0 [0]	6 [6]	8 [8]	1 [1]
14年	3 [3]	2 [1]	3 [3]	8 [7]	

注： 件数 [搬送人員] 平成14年は8月末まで

表4 消防防災ヘリコプターによる救急活動の実績

(義務年限)

第2条 自治医大卒業生は、自治医科大学を卒業した後、直ちに山形県内の県立病院、市町立病院（地方自治法（昭和22年法律第67号）第284条の規定による事務組合による病院を含む。以下同じ。）又は市町村立診療所（以下「指定公立病院等」という。）若しくは山形県内の保健所その他の公衆衛生関係行政機関（以下「保健所等」という。）に勤務し、かつ、引き続き9年間（以下「義務年限」という。）医師として勤務しなければならない。ただし、義務年限の2分の1以上の期間は、へき地等（離島、山村等医療機会に恵まれない地域をいう。以下同じ。）の指定公立病院等又は保健所等に勤務するものとする。

(へき地等の指定公立病院等)

第3条 前条ただし書きの規定によるへき地等の指定公立病院等とは、人口5万人未満の市町村に所在する指定公立病院等及び人口5万人以上の市に所在するへき地診療所（市町村立診療所であって、当該施設がなければ当該地区が無医地区（医療機関のない地区で、当該地区の中心的な場所を起点として、おおむね半径4キロメートルの区域内に50人以上が居住している地区であって、かつ、容易に医療機関を利用することができない地区をいう。）になる場合の当該施設をいう。以下同じ。）をいう。

(勤務)

第4条 この要綱において、勤務とは、常時勤務に服することを要する者又はこれに相当する勤務形態により勤務する者として勤務することをいう。ただし、へき地等の指定公立病院等への勤務については、山形県内の人口5万人以上の市に所在する県立病院又は市立病院に勤務しながら、へき地診療所に毎週1回以上定期的に出張して診療に従事する場合、及びへき地巡回診療車による巡回診療であって、山形県知事（以下「知事」という。）が認める診療に従事する場合を含むものとする。

表5 山形県自治医科大学卒業生の勤務等に関する取扱要綱（抜粋）

表6 羊蹄山ろく地域における消防防災ヘリコプターの搬送活動状況（H8年～14年）

年	出場件数					依頼病院（救急）		機体（救急）		
	救急			救助・ 捜索	合計	俱知安厚 生病院	管内病院	はまなす 2号	はまなす 号	その他
	現場	転送	転院搬送							
8		1	2		3	3		3		
9		4	4	3	11	5	3	6	2	
10			5	3	8	3	2	3		2
11		5	5	2	12	7	3	5	4	1
12		4	3	2	9	5	2	4	1	2
13		7	5		12	10	2	10	1	1
14		7	4	5	16	10	1	10		1
小計	0	28	28	15	71	43	13	41	8	7
合計	56					56		56		

表7 倶知安厚生病院への救急搬送件数

(単位：人)

		救急車による受入数				
		平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年10
受入時間 別患者数	8:30~17:00	363	231	288	293	107
	17:00~8:30	493	567	572	577	291
	合計	856	798	860	870	398
町 村 別 患 者 数	倶知安	239	202	230	190	126
	蘭越	94	69	77	64	22
	ニセコ	87	64	67	80	35
	真狩	35	33	34	32	20
	留寿都	10	10	15	21	12
	喜茂別	24	20	31	36	20
	京極	33	37	28	47	20
	共和	15	13	22	13	8
	岩内	20	18	13	17	8
	泊	5	2	2	2	1
	黒松内	8	3	4	10	6
	神恵内	1	0	0	2	0
	寿都	6	6	7	7	7
	島牧	4	2	5	8	4
	その他	275	319	325	341	109
	合計	856	798	860	870	398

表8 倶知安厚生病院におけるヘリコプター搬送状況 (H8年~14年)

年	出場件数					依頼病院(救急)		機体(救急)		
	救急			救助・ 捜索	合計	倶知安厚 生病院	管内病院	はまなす 2号	はまなす 号	その他
	現場	転送	転院搬送							
8		1	2		3	3		3		
9		4	4	3	11	5	3	6	2	
10			5	3	8	3	2	3		2
11		5	5	2	12	7	3	5	4	1
12		4	3	2	9	5	2	4	1	2
13		7	5		12	10	2	10	1	1
14		7	4	5	16	10	1	10		1
小計	0	28	28	15	71	43	13	41	8	7
合計	56					56		56		

岩内救急隊

搬送先	市町村名	距離	離所時間	要時間
	札幌市	96km		90分
	小樽市	56km		60分

※西の河原まで76km約1時間

島牧救急隊

搬送先	市町村名	距離	離所時間	要時間
	札幌市	160km		180分
	小樽市	129km		150分
	函館市	176km		160分
	伊達市	118km		140分
	俱知安町	107km		127分
	室蘭市	266km		150分

※島牧管内40.538km

寿都救急隊

搬送先	市町村名	距離	離所時間	要時間
	札幌市	140km		135分
	小樽市	100km		90分
	函館市	150km		150分
	伊達市	86km		75分
	室蘭市	100km		150分

黒松内救急隊

搬送先	市町村名	距離	離所時間	要時間
	札幌市	146km		134分
	小樽市	107km		96分
	函館市	130km		120分
	伊達市	75km		95分
	室蘭市	90km		90分
	俱知安町	66km		60分
	八雲町	53km		57分
	長万部町	22km		33分
	紅谷町	58km		68分

表9 岩内・寿都地域における転送・転院搬送の距離と所要時間

転送病院	転送先医療機関	所在地	傷病程度	事故種別	所要時間	転送理由	搬送人員	
道立寿都病院	岩内協会病院	岩内町	中等症	一般負傷	87分	専門外	1	
	俱知安厚生病院	俱知安町	中等症	急病	141分	専門外	1	
	俱知安厚生病院	俱知安町	中等症	急病	132分	専門外	1	
	中村記念病院	札幌市	軽症	急病	174分	専門外	1	
	岩内協会病院	岩内町	軽症	一般負傷	113分	専門外	1	
	市立小樽第二病院	小樽市	軽症	一般負傷	141分	専門外	1	
	俱知安厚生病院	俱知安町	軽症	急病	120分	専門外	1	
	八雲総合病院	八雲町	中等症	交通事故	118分	専門外	1	
	市立小樽病院	小樽市	中等症	急病	157分	専門外	1	
	道立寿都病院	寿都町	中等症	急病	58分	搬入院	1	
島牧診療所	伊達赤十字病院	伊達市	中等症	急病	151分	専門外	1	
	俱知安厚生病院	俱知安町	中等症	急病	110分	専門外	1	
	市立小樽第二病院	小樽市	中等症	急病	137分	専門外	1	
	俱知安厚生病院	俱知安町	中等症	急病	131分	専門外	1	
	道立寿都病院	寿都町	中等症	急病	64分	搬入院	1	
	道立寿都病院	寿都町	中等症	急病	160分	専門外	1	
	俱知安厚生病院	俱知安町	中等症	急病	65分	搬入院	1	
	道立寿都病院	寿都町	中等症	急病	53分	専門外	1	
	友愛記念病院	江別市	中等症	急病	232分	専門外	1	
	道立寿都病院	寿都町	中等症	急病	68分	専門外	1	
北樺山国保病院	道立寿都病院	寿都町	軽症	急病	118分	専門外	1	
	道立寿都病院	寿都町	軽症	急病	63分	専門外	1	
	道立寿都病院	寿都町	中等症	急病	187分	専門外	1	
	道立寿都病院	寿都町	中等症	急病	58分	搬入院	1	
	道立寿都病院	寿都町	軽症	急病	58分	搬入院	1	
	函館五枝和病院	函館市	中等症	一般負傷	174分	専門外	1	
	大浜医院	国立札幌病院	札幌市	中等症	急病	90分	搬入院	1
	千恵外科協会病院	岩内町	中等症	交通事故	3分	搬入院	1	
	手稲深仁会	札幌市	重症	交通事故	70分	死亡	1	
	大川原精神科	室蘭市	重症	急病	180分	専門外	1	
黒松内国保病院	八雲総合病院	八雲町	重症	交通事故	41分	処置困難	1	
	手稲深仁会	札幌市	重症	交通事故	115分	処置困難	1	
	市立室蘭総合病院	室蘭市	中等症	交通事故	70分	処置困難	1	
	俱知安厚生病院	俱知安町	中等症	急病	55分	処置困難	1	
	札幌鉄道病院	札幌市	中等症	急病	135分	専門外	1	
	日鋼記念病院	室蘭市	重症	急病	72分	処置困難	2	
	道立寿都病院	寿都町	軽症	一般負傷	15分	処置困難	1	
	手稲深仁会	札幌市	重症	交通事故	115分	処置困難	1	
	ヘリポート	重症	交通事故	2分	処置困難	1		
	大川原精神科	室蘭市	重症	一般負傷	80分	処置困難	1	
勤医協	日鋼記念病院	室蘭市	重症	急病	72分	処置困難	1	
	俱知安厚生病院	俱知安町	軽症	交通事故	55分	処置困難	1	
	伊達赤十字病院	伊達市	重症	急病	60分	処置困難	1	
	八雲総合病院	八雲町	中等症	急病	41分	処置困難	1	
	日鋼記念病院	室蘭市	重症	急病	72分	処置困難	1	
	計					46件	47名	

表10 岩内・寿都地域における転送例と収容医療機関

件数	年齢	性別	要請機関	種別	搬送先	要請時間	到着時間	所要時間
1	50	男性	消防署	交通事故	札幌医大	13:40	14:25	45
2	60	男性	黒松内町国保病院	交通事故	札幌医大	7:20	8:44	84
3	1	男性	岩内協会病院	一般負傷	札幌市立	14:20	15:18	58
4	58	女性	道立寿都病院	交通事故	札幌医大	11:57	12:30	33
5	51	男性	岩内協会病院	交通事故	札幌医大	12:40	13:43	63
6	16	男性	岩内協会病院	転院搬送	札幌外科記念	13:30	15:08	98
7	36	男性	道立寿都病院	転院搬送	札幌医大	6:15	8:07	112
8	1	男性	小林整形外科	一般負傷	札幌医大	14:50	15:38	48
9	23	男性	岩内協会病院	運動競技	札幌医大	14:40	15:52	72
10	5	女性	黒松内町国保病院	一般負傷	札幌市立	14:05	16:25	140
11	71	男性	道立寿都病院	急病	札幌医大	14:43	16:45	122
12	24	男性	岩内協会病院	交通事故	札幌医大	21:32	22:31	59
13	1	男性	岩内協会病院	溺水	札幌医大	16:00		
14	51	男性	道立寿都病院	労働災害	札幌市立	11:34	11:51	17
15	46	男性	神恵内診療所	労働災害	札幌医大			
16	39	女性	岩内協会病院	自損	札幌医大			
17	67	男性	黒松内町国保病院	一般負傷	札幌医大			
18	7	男性	岩内協会病院	交通事故	札幌市立	14:40	15:45	65
19	77	女性	黒松内町国保病院	一般負傷	札幌市立	9:50		
20	55	男性	岩内協会病院	労働災害	手稲深仁会	10:40	11:35	55
21	30	男性	岩内協会病院	交通事故	夕張労働病院	6:45	7:45	60
22	27	男性	消防署	労働災害	札幌医大			
23	26	男性	黒松内町国保病院	急病	手稲深仁会	16:20	17:20	60
24	65	女性	岩内協会病院	急病	札幌市立	13:10	13:55	45
25	56	男性	岩内協会病院	急病	札幌市立	20:37	21:50	73
26	69	男性	岩内協会病院	一般負傷	札幌市立	14:03	15:00	57
27	64	女性	神恵内診療所	急病	札幌医大	13:35	14:11	36
28	14	男性	岩内協会病院	水難事故	札幌医大	15:58	16:15	17
29	59	女性	岩内協会病院	急病	札幌市立	7:28	8:15	47
30	64	女性	岩内協会病院	入院者	札幌医大	14:03	14:35	32
31	4	男性	岩内協会病院	溺水	札幌市立	17:30	18:15	45
32	23	男性	寿都支署	水難事故	道立寿都病院	15:50	16:40	50
33	74	男性	岩内協会病院	交通事故	札幌市立	14:07	14:43	36
34	43	男性	岩内協会病院	労働災害	札幌医大	15:20	16:02	42
35	64	男性	岩内協会病院	急病	札幌市立	13:46	14:32	46
36	25	男性	岩内協会病院	急病	札幌市立	14:49	15:50	61
37	59	男性	岩内協会病院	急病	札幌医大	15:20	16:07	47
38	26	男性	岩内協会病院	労働災害	札幌医大	10:20	10:57	37
39	46	女性	黒松内町国保病院	交通事故	手稲深仁会	13:15	14:06	51
40	51	男性	岩内協会病院	その他	手稲深仁会	12:41	13:02	21
41	25	女性	岩内協会病院	転院搬送	旭川医大	11:20	11:53	33
42	71	女性	神恵内ハイソ	その他			16:10	
43	76	男性	岩内協会病院	転院搬送	札幌市立	11:06	11:31	25

表11 岩内・寿都地域におけるヘリコプター搬送状況

岡山県 診療島嶼名	平成13年度
鹿久居島	2
鴻島	1
頭島	6
大多府島	5
布浜	2
犬島	3
石島	4
高島	5
白石島	10
北木島(楠)	3
北木島(豊浦)	3
北木島(西地区)	3
北木島(大浦)	5
真鍋島	7
六島	5
飛島	6
計(16)	70

広島県 診療島嶼名	平成13年度
小佐木島	2
百島	6
生野島	4
大芝島	4
長島	3
齋島	4
大迫	2
鹿島	6
三角島	4
沖友	4
塩谷	4
情島	2
浦刈島	10
計(13)	55

香川県 診療島嶼名	平成13年度
男木島	7
女木島	7
小手島	2
手島	2
牛島	1
本島	3
広島	3
櫃石島	7
与島	4
小与島	2
岩黒島	7
高見島	1
佐柳島	2
豊島	7
小豊島	1
沖ノ島	1
直島	3
小豆島	9
伊吹島	3
栗島	1
志々島	1
計(21)	74

愛媛県 診療島嶼名	平成13年度
佐島	2
高井神島	1
魚島	1
津島	2
盛	1
友浦	1
余所国	1
野々江	1
有津	1
大下島	1
津和知島	1
睦月島	2
二神島	1
怒和島	2
岡村島	
安居島	1
御手洗	
釣島	2
野忽那島	1
日振島	2
戸島	2
嘉島	2
竹ヶ島	2
大島	2
青島	1
計(25)	33

表 14 平成13年度の済生丸による巡回診療実施回数

システム対象機関

県立病院(7か所)	県立病院附属診療所(18か所)	町村立診療所(2か所)
1. 北部病院(名護市)	1. 伊平屋診療所 (伊平屋村・伊平屋島) 2. 伊是名診療所 (伊是名村・伊是名島) 3. 安田診療所 (国頭村・沖縄本島) 4. 古宇利診療所 (今帰仁村・古宇利島)	1. 伊江村立診療所 (伊江村・伊江島) 2. 与那国町立診療所 (与那国町・与那国島)
2. 中部病院(具志川市)	5. 津堅診療所 (勝連町・津堅島)	
3. 那覇病院(那覇市)	6. 粟国診療所 (粟国村・粟国島) 7. 渡嘉敷診療所 (渡嘉敷村・渡嘉敷島) 8. 渡名喜診療所 (渡名喜村・渡名喜島) 9. 北大東診療所 (北大東村・北大東島) 10. 南大東診療所 (南大東村・南大東島) 11. 阿嘉診療所 (座間味村・阿嘉島) 12. 座間味診療所 (座間味村・座間味島) 13. 久高診療所 (知念村・久高島)	
4. 積和病院(南風原町)		
5. 南部病院(糸満市)		
6. 宮古病院(平良市)	14. 多良間診療所 (多良間村・多良間島)	
7. 八重山病院(石垣市)	15. 西表西部診療所 (竹富町・西表島) 16. 大原診療所 (竹富町・西表島) 17. 波照間診療所 (竹富町・波照間島) 18. 小浜診療所 (竹富町・小浜島)	

注：多地点テレビ会議システムは、2町村立診療所は含まない。

表 15 医療支援情報システム対象機関

診療所名	配置職員				立地条件										平成13年度	
	医師	看護師等	嘱託事務員	計	地区人口(人)	過疎	離島	最寄りの中核病院までの諸要件				半径4km以内の医療機関の有無	患者延数	1日平均患者数		
								距離(km)	時間	交通機関	通院に要する日数					
北部	伊平屋	1	1	2	4	1,635	○	○	63.5	2:20	船舶、バス	3日	有(歯科)	8,242	33.6	
	伊是名	1	1	2	4	1,965	○	○	49.7	2:00	船舶、バス	3日	有(歯科)	8,776	35.8	
	安田	1	※1	1	3	235	○		51.0	1:55	バス	1日	有	1,370	5.6	
	古宇利	1	1	1	3	364	○	○	19.8	0:50	船舶、バス	1日	無	1,727	7.0	

表 16 沖縄県へき地医療支援体制

診療所名	平成9年度		10		11		12		13		14年2月末	
	ヘリ	船	ヘリ	船	ヘリ	船	ヘリ	船	ヘリ	船	ヘリ	船
伊平屋	7	0	7	1	8	1	10	0	13	0	21	0
伊是名							24		31			21
古宇利	0	21	0	2	0	24	0	9	0	15	0	21
伊江	1	86	1	115	1	92	1	97	0	51		

表 17 離島の診療所からの患者搬送

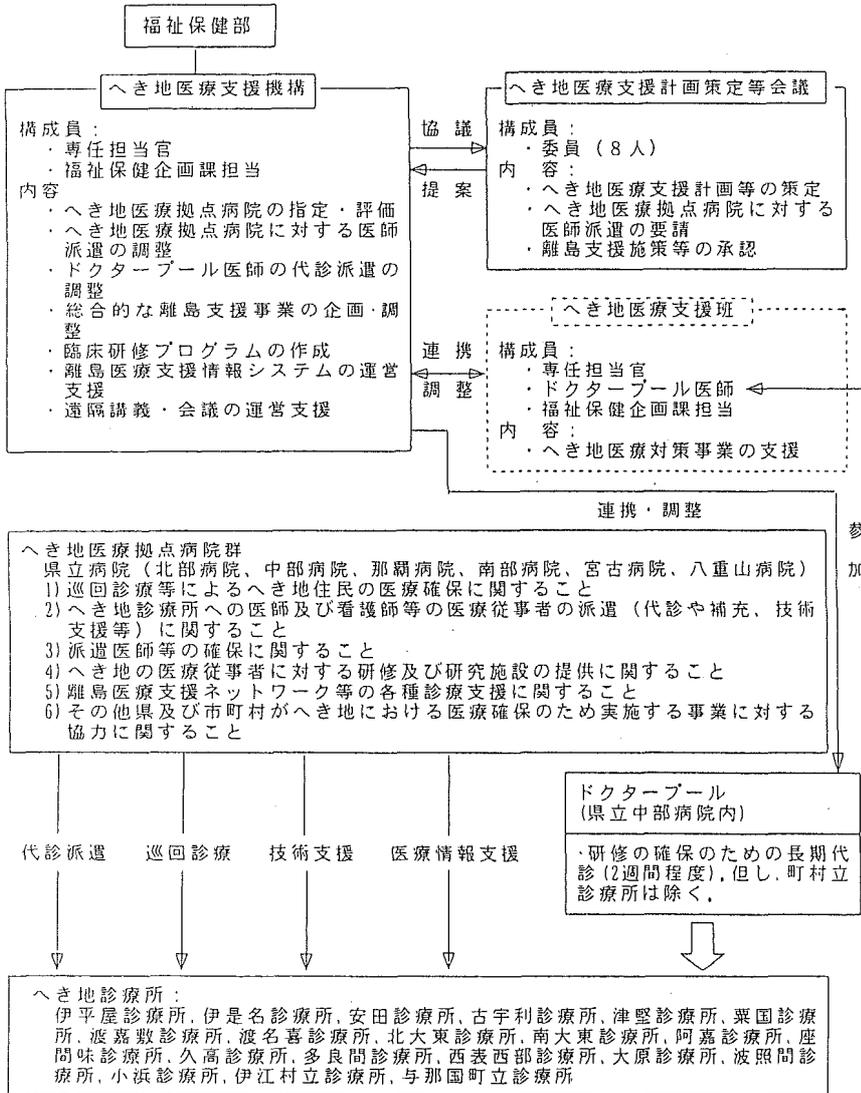
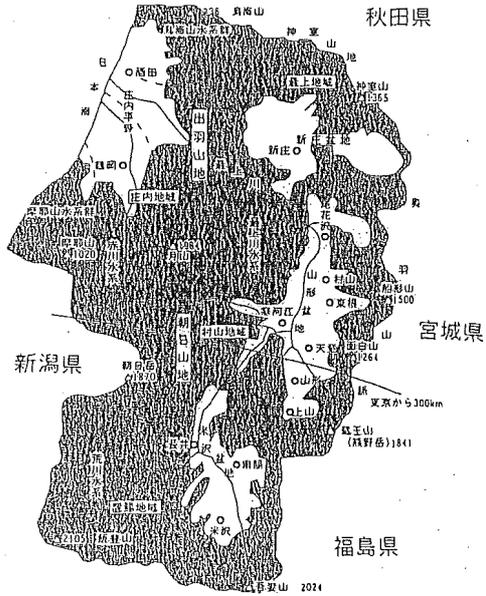


表 18 沖縄県へき地医療支援体制



山形県の面積 9,323km²
 最上川の流域面積7,040km²
 (県全面積の76%)

図1 山形県の位置

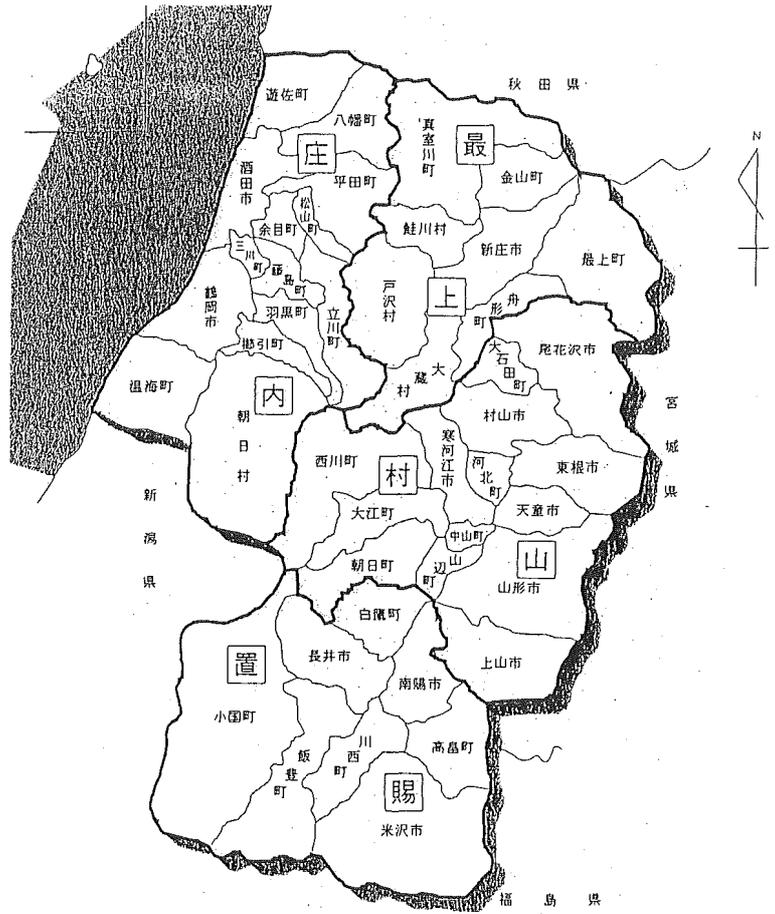
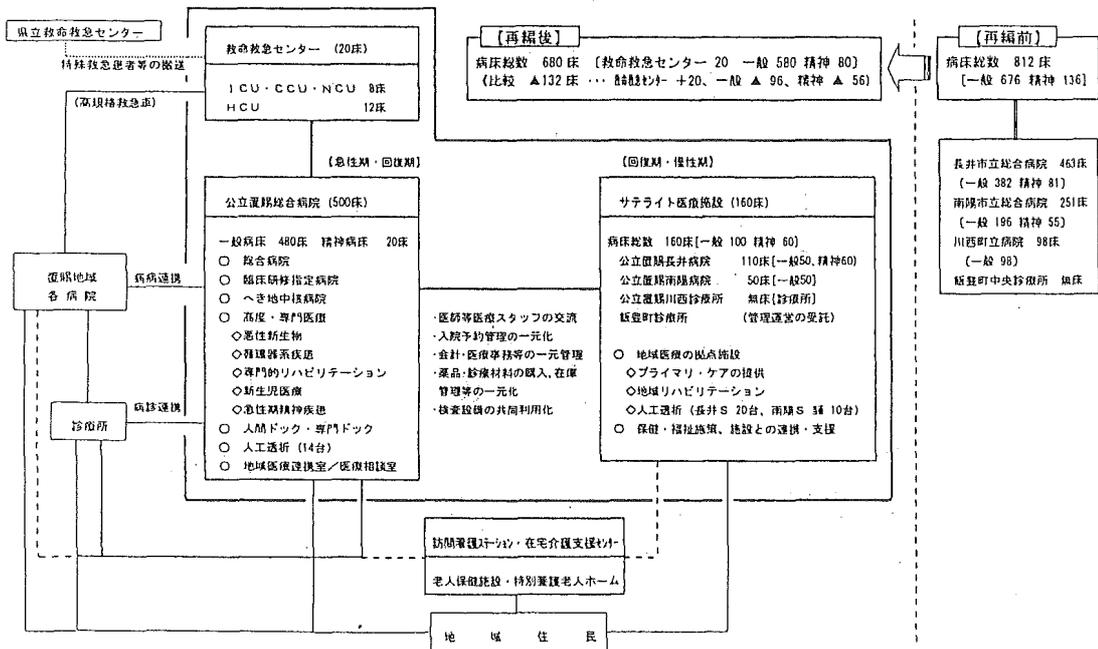
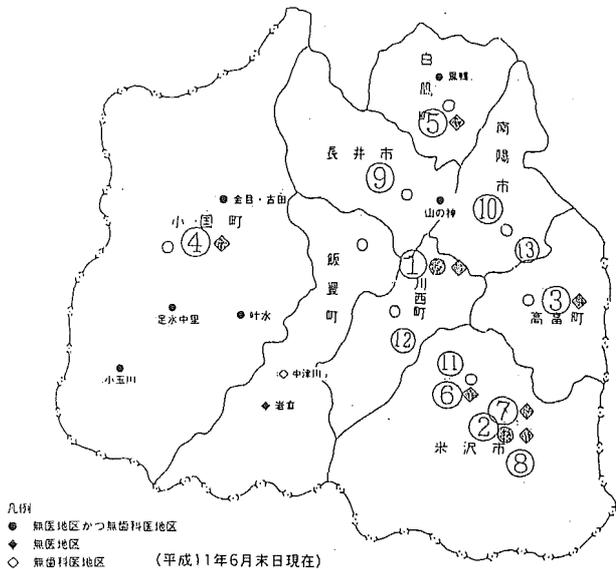


図2 山形県置賜地域

図3 置賜広域病院組合における医療構想図





凡例
 ● 無医地区かつ無歯科医地区
 ◆ 無医地区
 ○ 歯科医地区 (平成11年6月末日現在)

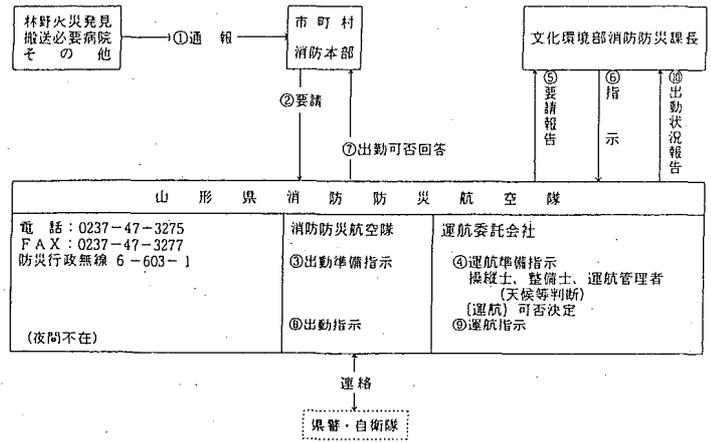
(平成14年4月1日現在)

No	病院名	病床数
①	公立置賜総合病院	520
②	米沢市立病院	427
③	公立高畠病院	130
④	小国町立病院	55
⑤	白鷹町立病院	70
⑥	財団法人三友堂病院	199
⑦	医療法人舟山病院	194
⑧	国立療養所米沢病院	270
⑨	公立置賜長井病院	110
⑩	公立置賜南陽病院	50
⑪	財団法人三友堂病院三友堂リハビリセンター	120
⑫	川西湖山病院	108
⑬	医療法人社団公徳会佐藤病院	216

◎ 中核病院
 ◆ 救急告示病院

図4 置賜地域における無医地区と医療機関の概況

- 1 (勤務時間内 午前8時30分~午後5時) -



- 2 (勤務時間外 上記の時間外) -

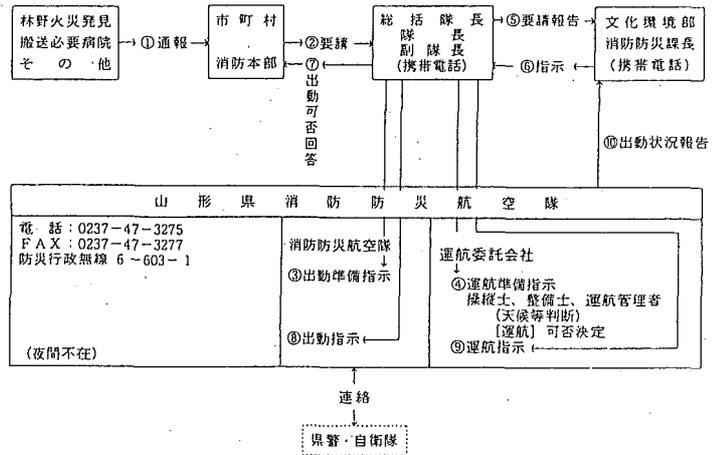
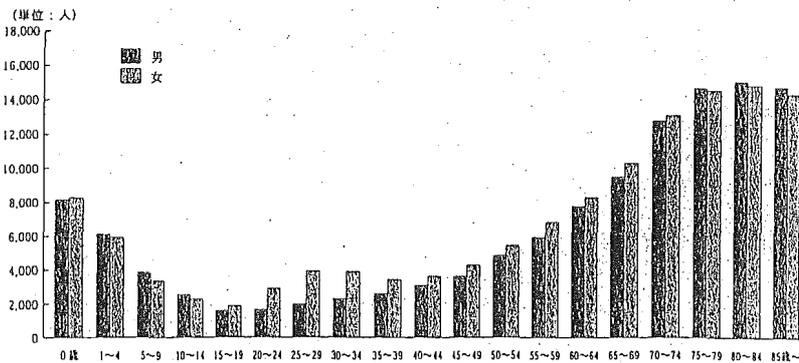


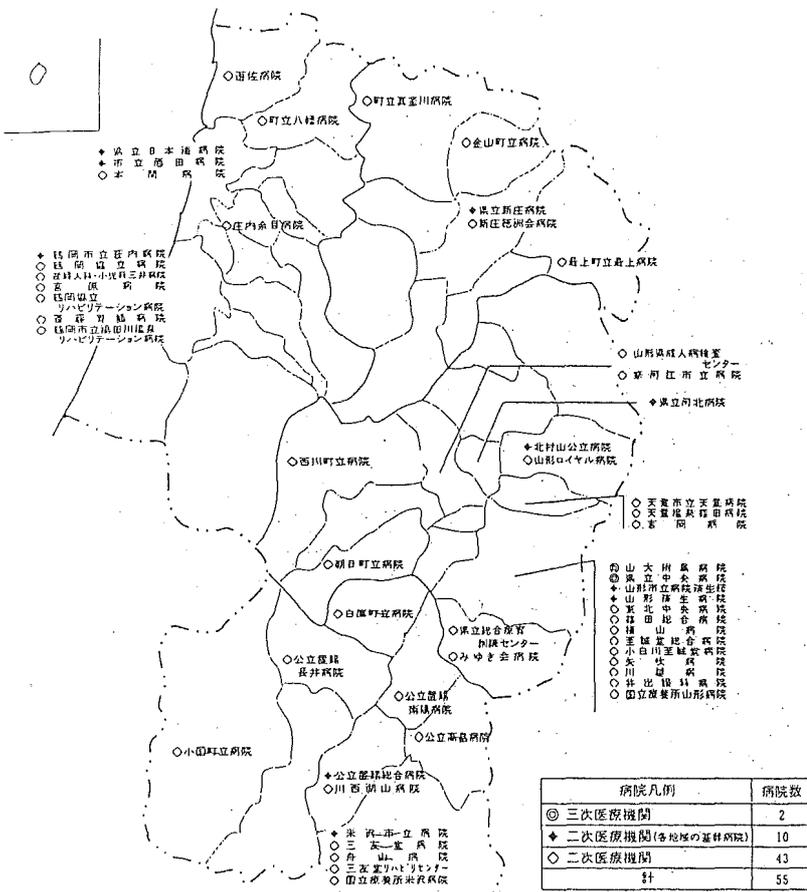
図5 消防防災ヘリコプター緊急運航連絡系統図



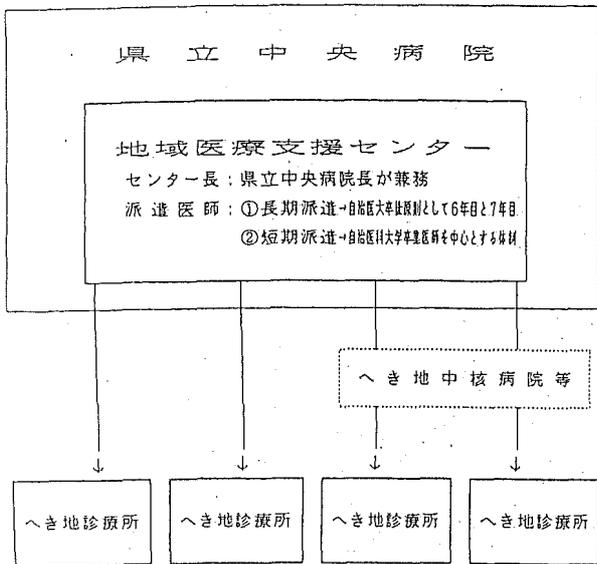
資料：山形県患者調査(平成11年)

図6 年齢階級別受療率(人口10万人当たりの患者数)

図7 山形県における二次、三次医療機関図



[モデル図]



※自治医科大学卒業医師の勤務形態モデルは次のとおりとなる。

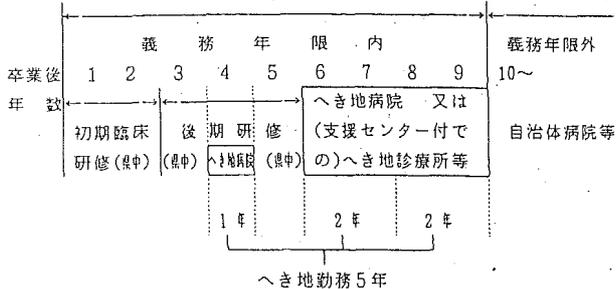
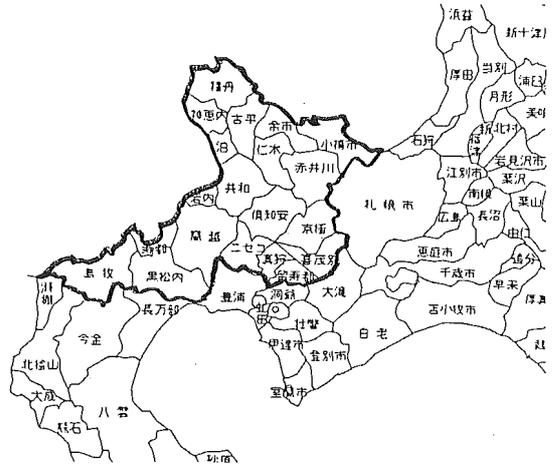


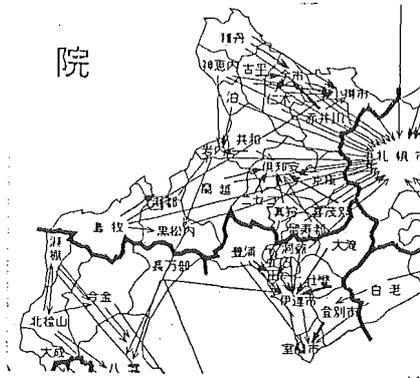
図8 地域医療センター(県立中央病院)と自治医科大学卒業医師の勤務形態モデル



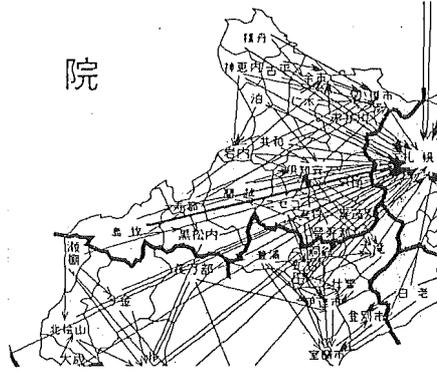
	構成市町村	消防本部名
後志支庁	小樽市	小樽市消防本部
	岩内町・共和町 寿都町・黒松内町 神恵内村・泊村	岩内・寿都地方 消防組合消防本部
	島牧村 俱知安町・京極町 蘭越町・ニセコ町 喜茂別町・真狩村 留寿都村	羊蹄山ろく 消防組合消防本部
	余市町・積丹町 古平町・仁木町 赤井川村	北後志 消防組合消防本部

図9 後志二次保健医療圏における羊蹄山ろく地域と岩内・寿都地域(北海道央、後志支庁の構成市町村と消防本部)

通 院



入 院

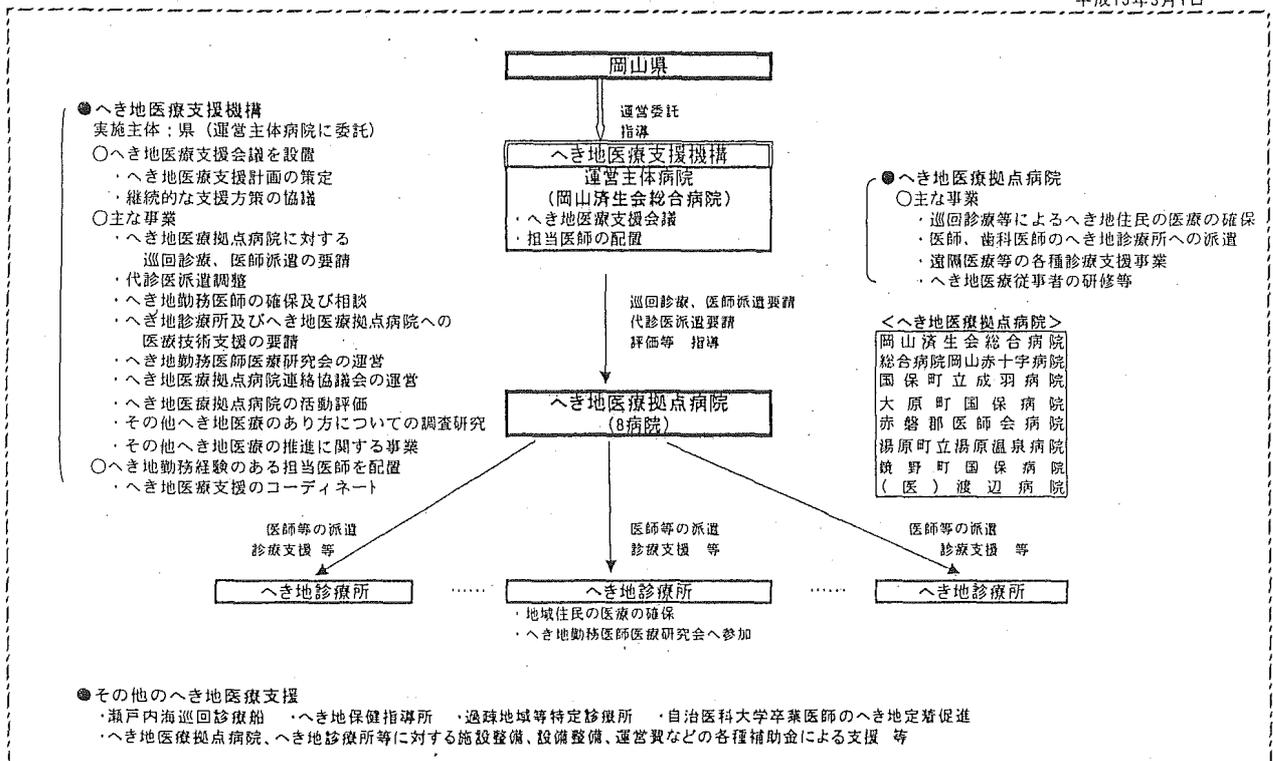


凡 例	
5%~25%	→
25%~50%	→
50%~	→

図 10 後志二次保健医療圏においては市町村別医療の自給および依存状況 (通院、入院)

図 11 岡山県のへき地医療支援新体制図

平成15年3月1日



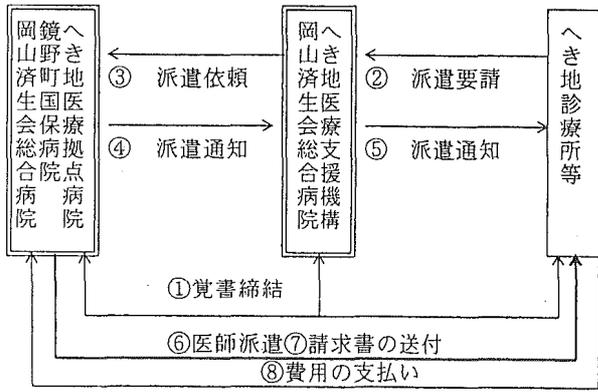


図 12 へき地代診医師派遣の手続き

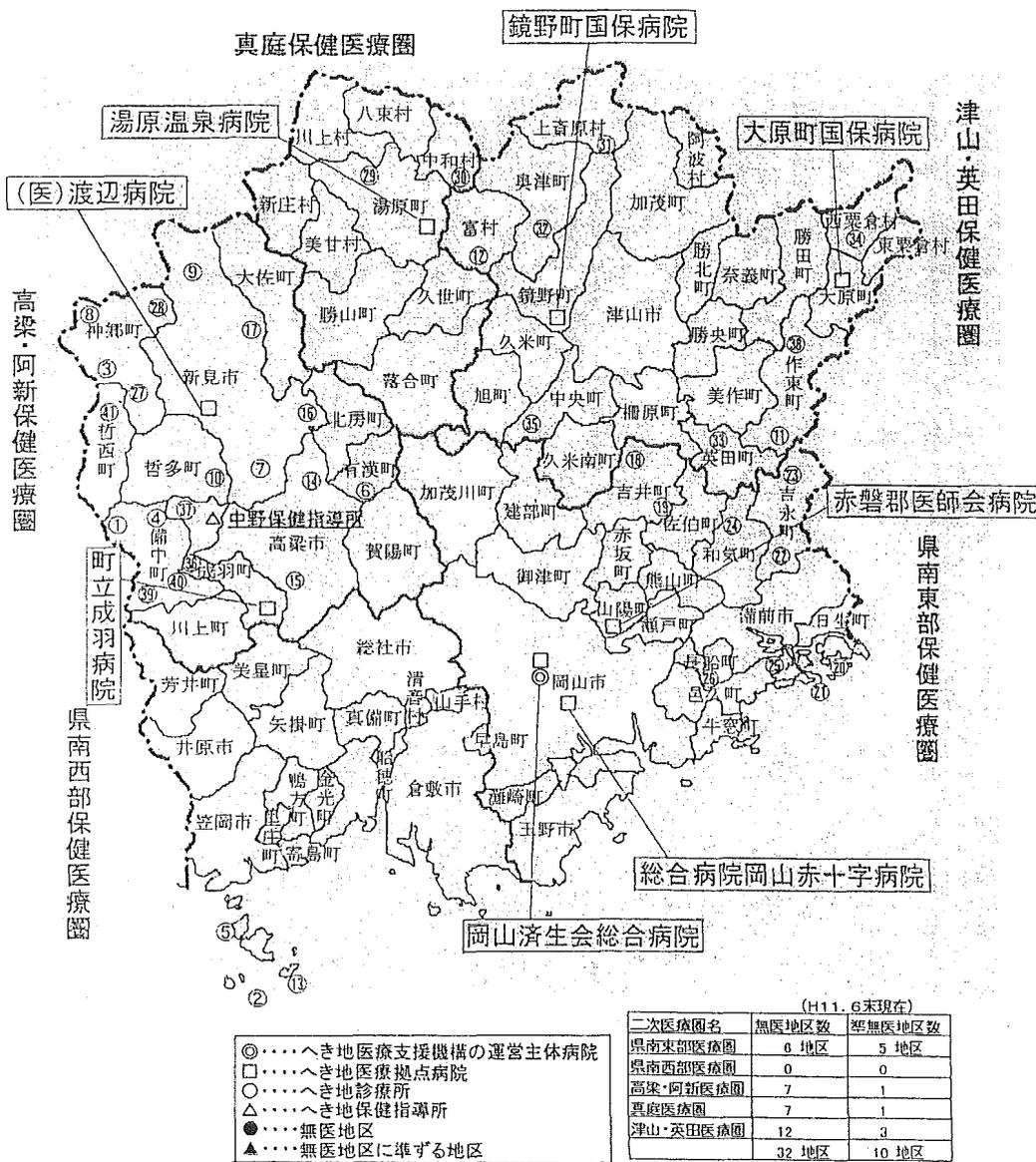


図 13 岡山県の二次医療圏とへき地医療拠点病院

1 後期研修制度見直しの概要

○研修期間を2年→1年へ変更する。

ただし、義務年限終了後5年以内にへき地の病院等で2年間医療に従事することを誓約した者は2年間。

<変更前>

臨床研修 2年	現場配置 3～4年	後期研修 2年	現場配置 1～2年	義務年限終了 (9年間)
【現場配置5年】				



<変更後>

○1年を選択した場合

臨床研修 2年	現場配置 3～4年	後期研修 1年	現場配置 2～3年	義務年限終了 (9年間)
【現場配置6年】				

○2年を選択した場合（誓約書提出が条件）

臨床研修 2年	現場配置 3～4年	後期研修 2年	現場配置 1～2年	義務年限終了後 へき地の病院等 2年
【現場配置7年】				県職員 ← → 県退職後

※現場配置期間についてはへき地の病院等の2年間を含む。

2 見直し効果（平成16年度）

自治医科大学卒業医師勤務別配置数一覧

(単位：人)

勤務内容	臨床研修	後期研修	現場配置	計
変更前	4	5	231	240
変更後	4	4	212	220

図14 自治医科大学卒医師の後期研修

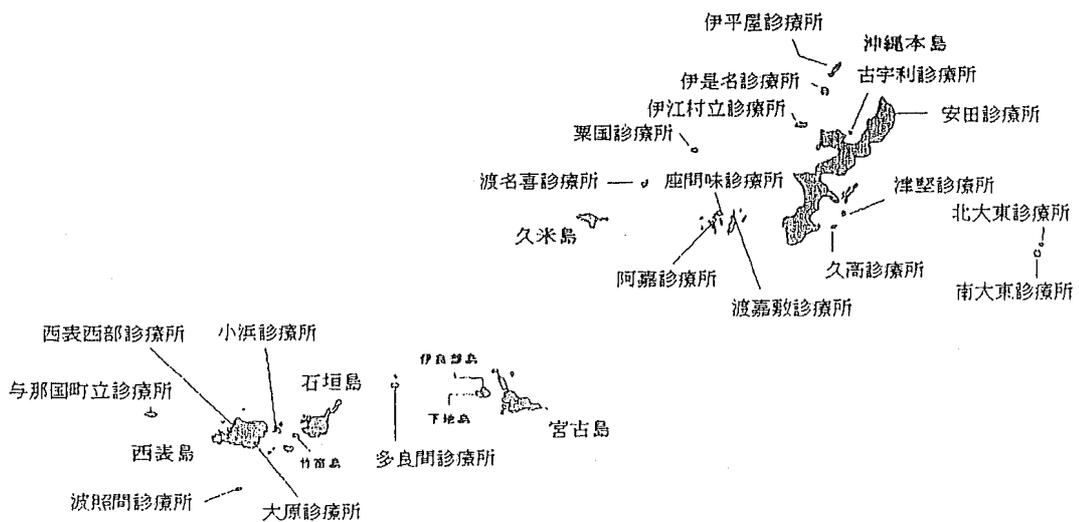


図15 沖縄県のへき地・離島診療所位置図

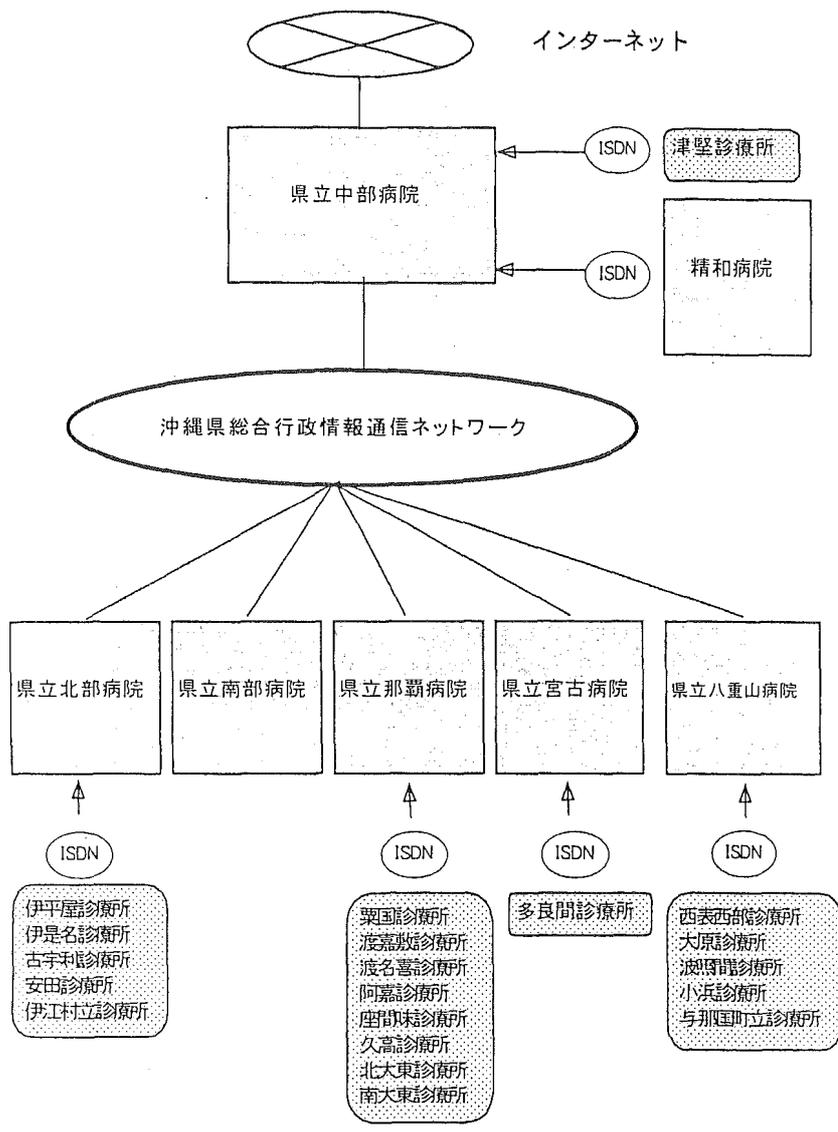


図 16 沖縄県の離島・へき地遠隔医療支援情報システム概念図